

特別講義IV

到達目標:先端的研究の背景および現状に触れることで論理的思考力と発想力を想起させ、将来展望を考える。

科目責任者(所属):初沢 清隆(分子生物学)

連絡先:生命科学棟4F 教授室:0859-38-6201or 6203

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	6/7(木)	1	511	第一線の研究者による講義を通じて、生命科学の最先端を理解する。 月日は仮の日程であり、3週間前には詳細を指示する。	堀 直裕	分子生物学	DNAメチル化状態の制御機構を理解する	新規メチル化、維持メチル化、脱メチル化、領域特異的制御
2	6/22(金)	16:30-18:30	421		鳥居 征司	群馬大学 (非常勤講師)	疾患における細胞死の分子機構を理解する	アポトーシス、ネクローシス、パイロトーシス、細胞死、
3	6/28(木)	1	511		初沢 清隆	分子生物学	Toll様受容体の機能制御を理解する	Rabタンパク質、SNAREタンパク質、炎症
4	6/29(金)	17:20-19:20	421		白瀧 博通	独協医科大学 (非常勤講師)	多機能分子Taxilinから見えてくる細胞現象を理解する	Taxilin、筋分化、骨形成、ERストレス、中心体解離、肝炎ウイルスの成熟化
5	7/6(金)	16:30-18:30	421		谷本 啓司	筑波大学 (非常勤講師)	遺伝子の長距離発現制御を理解する	遺伝子発現、インプリント遺伝子、人工染色体、ゲノム編集
6	7/13(金)	16:30-18:30	421		亀高 諭	名古屋大学 (非常勤講師)	格筋分化と分子機構と病態との関連を理解する	筋分化、spastinタンパク質、ER、エンドソーム
7	7/19(木)	1	511		未定	未定	未定	未定
8	7/26(木)	1	511		未定	未定	未定	未定

教育グランドデザインとの関連:2、3、5

学位授与の方針との関連:1、2

評価:講義内容に関するレポート50%と授業態度50%

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。